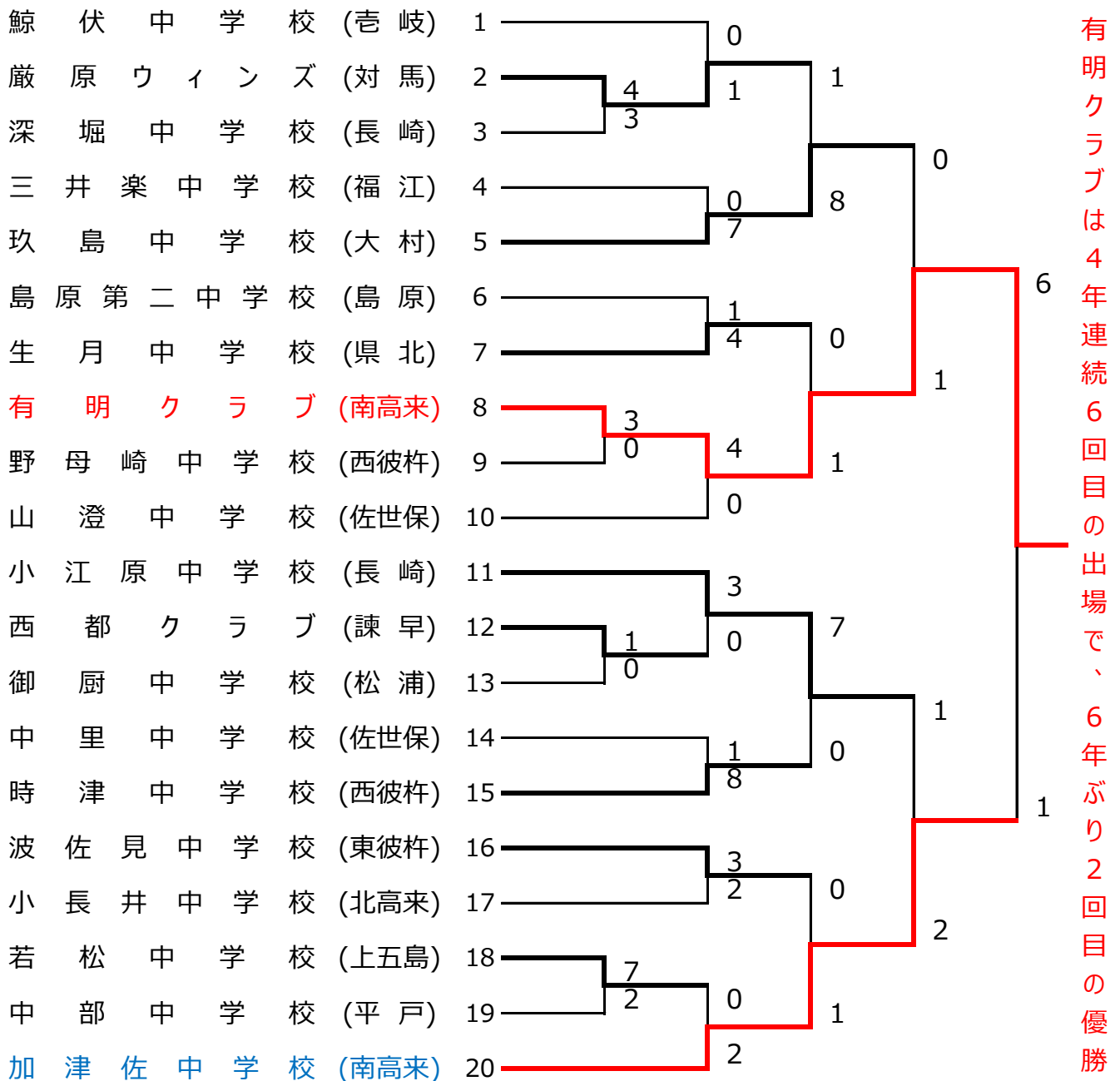


【 第20回大会 】 平成3年8月10日～12日：長崎市

2チーム参加支部 長崎・佐世保・西彼杵・南高来

南高来支部代表同士の決勝戦は初めてで、有明クラブは6年ぶり2回目の優勝



**雲仙・普賢岳災害について** 平成2年の11月17日、雲仙岳の主峰・普賢山(標高1359m)の山頂付近から白煙のたなびきが目撃された。「島原大変」から199年ぶりの噴火で、地元では観光名物になると喜んでいたら、半年後の平成3年5月15日に島原市の水無川に初めて土石流が発生した。そして同月20日に溶岩ドームが出現し崩落と火砕流が始まり、6月3日の午後4時8分に最大の火砕流が水無川沿いに走って、消防団員や警察官に地元農業者など計43人が逃げる間もなく犠牲になった。島原地区の野球チームは野球大会どころではなくなり、一般チームの安中クラブをはじめ島原市内の一般チームは当分の間、各県大会を不参加せざるを得なくなった。そんな中で県中学選手権大会には、島原第二中学校が島原市代表で参加してきた。